

●出版記念講演会・サイン会●

折口信夫の古代への旅

—スライドでめぐる日本の祭り—

芳賀日出男

●日時：2010年5月31日(月) 午後3時～

●会場：金光教 玉水記念館 3階中ホール(地下鉄四つ橋線 肥後橋下車8番出口を上がってすぐ)

大阪市西区江戸堀1丁目10-31 電話：06-6441-0169

●主催：音訳グループ N-BUN

入場無料

民俗学者 おりくちしのぶ 折口信夫は「古代」を知ることにより全生涯をかけ、人々の信仰や暮らし、行事などを通して現代まで伝承されている超時代的精神を感じとり、古代の片鱗を見つけていた。

折口信夫に大きな影響を受けた民俗写真家の泰斗、芳賀日出男氏は、その足跡を訪ねて各地に伝わる祭りや伝統芸能をライフワークとして写し続けてきた。88歳の現役写真家、芳賀日出男氏が記録し続けた写真から、折口の考えた日本人の心の原点を読み解く。



芳賀日出男氏が60余年にわたり撮影した膨大な写真から選りすぐった集大成ともいえる1冊。写真と解説によって、難解といわれている折口の研究を親しみやすく映し出し、古代より受け継がれてきた日本の心の原型をみごとにあらわしている。

B5判(横)／上製／152頁(カラー128頁)

ISBN：978-4-7664-1500-1

定価：3,360円(本体：3,200円)

慶應義塾大学出版会刊

芳賀日出男 (はがひでお)

写真家。1921年中国大連市生まれ。慶應義塾大学在学中に折口信夫の授業を受けるが難しく皆目わからず。卒業後、折口の跡を旅しはじめて理解する。その発想が「民俗写真」のきっかけとなる。日本写真家協会創立者の一人。日本の祭り、世界の祭り、民間信仰、民俗などの民俗写真の第一人者として活躍。大阪万博(1970)のお祭り広場プロデューサー、全日本郷土芸能協会理事長、日本写真家協会副会長などを歴任。

紫綬褒章、旭日小綬章、日本文芸大賞民俗文化賞など受章多数。主な著書に『日本の祭り』『世界の祭と衣装』『日本の民俗』『ヨーロッパ古層の異人たち』『日本各地の伝統的な暮らし』1、2、6巻などがある。

ホームページ：<http://hagafoto.jp>

参加方法:

下記にFAXまたは電話にて要予約(先着100名まで)

「芳賀日出男氏講演会参加希望」として、お名前・お電話番号・参加人数、をお知らせ下さい。

申込先：電話・FAX **06-6391-2868** 担当：林暁子(橋本)